

展示会入場方法 (スムーズな入場のためにも来場者事前登録を推奨します)

来場者事前登録

事前登録の
メリット

【メリット1】
並ばずに
入場できる。

【メリット2】
シンポジウム(有料)
への参加申し込み
ができる。

【メリット3】
連絡先を含む出展
者情報の閲覧が
できる。

- 1 Techno-Ocean2025 WEBサイトより来場者登録してください。
- 2 「Mypage」から入館証をプリントアウトしてください。(カラー印刷にご協力ください)
- 3 入館証(プリント)を会場へお持ちください。
- 4 QRコードをリーダーにかざしてご入場ください。



または

本招待券を持参

- 1 会場受付にて本招待状とお名刺2枚をご持参ください。



- 2 入館証を受取り、QRコードをリーダーにかざしてご入場ください。
※シンポジウムへのご参加は会場で別途登録が必要となります。

Techno-Ocean 2025 パネルセッション

「海のSDGs」を総合テーマに、6つのトピックスについて、産学官の第一線で活躍の方々による会場参加型のパネルディスカッション形式にて開催!

1. 海運GXの今とこれから
2. 持続可能な水産業のための新たな技術開発への挑戦
3. 海洋人材育成と獲得のためのリスクリングシステムの構築
4. 自律運航船と海上通信網がもたらす海事イノベーション
5. 浮体式洋上風力発電の展望
6. 日本の資源・エネルギー開発に資する海洋ロボティクス

※参加登録料 25,000 円が別途必要となります。(事前登録の場合)

同時開催事業(参加費無料・整理券が必要となります。)

気象庁 海洋気象観測船「凌風丸」の一般公開

(※神戸市主催)

【乗 船 時 間】 2025年11月29日(土)
10:30~11:30、13:00~15:00

【整理券配布場所】 Techno-Ocean 2025展示会場内

【船内見学場所】 神戸ポートターミナル
(展示会場からの無料シャトルバスあり)

【注 意 事 項】

※Techno-Ocean 2025展示会場にて整理券を受け取ってください。
神戸ポートターミナルに直接行かれても船内見学にはご参加いただけません。
※船内の構造上、車イスやお一人で歩行できない方はご参加いただけません。
※詳細については、Techno-Ocean 2025Webページよりご確認ください。

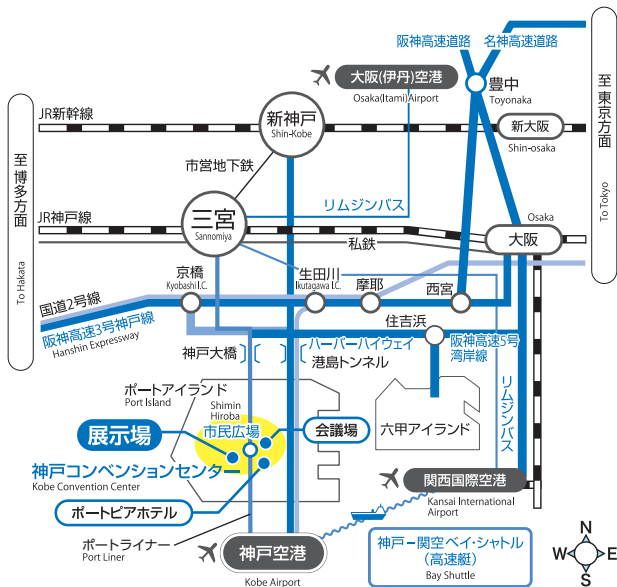
凌風丸について

海のような地球の気候を調べる船です。海の表面から深いところまでの水温や海の流れをはかったり、大気や水の中にある二酸化炭素などの気体、また大気中の水蒸気量を調べたりします。これによって、地球温暖化や大雨をもたらす線状降水帯の予測精度向上に役立ちます。



@気象庁提供

会場へのアクセス Access to Kobe



飛行機/Air			
関西国際空港 Kansai International Airport (IXC)	[高速艇・ベイシャトル/約30分] Bay Shuttle Ferry/30 minutes	神戸空港 Kobe Airport	[ポートライナー/約8分] Port liner/8 minutes
伊丹空港 Osaka Itami Airport	[リムジンバス/約70分] Limousine Bus/70 minutes	三宮駅 Sannomiya Station	[ポートライナー/約10分] Port liner/10 minutes
新幹線/Shinkansen (Bullet train)			
JR新神戸駅 JR Shin-Kobe Station	[タクシー/約20分] Taxi/20 minutes	三宮駅 Sannomiya Station	[ポートライナー/約10分] Port Liner/10 minutes
車/Car			
大阪方面より From Osaka	[阪神高速3号神戸線] Hanshin Express Way Route 3 Kobe Line	生田川I.C. Ikutagawa I.C.	[ポートアイランドへ/約10分] To Port Island/10 minutes
	[阪神高速5号湾岸線] Hanshin Express Way Route 5 Bayshore Line	住吉浜I.C.乗継 Sumiyoshihama I.C.	[ハーバーハイウェイ/ ポートアイランド降り口から約 15分] From Harbor Way/Port Island Exit minutes
岡山・姫路方面より From Okayama・Himeji	[阪神高速3号神戸線] Hanshin Express Way Route 3 Kobe Line	京橋I.C. Kyobashi I.C.	[ポートアイランドへ/約10分] To Port Island/10 minutes

入場無料/FREE

International Conference & Exhibition

Techno-Ocean 2025

海と生きる ~ Coexistence with the Ocean ~

11月27日(木),28日(金),29日(土) November 27(Thu.),28(Fri.),29(Sat.)
9:00~17:00 10:00~17:00 10:00~16:00 9:00~17:00 10:00~17:00 10:00~16:00

神戸国際展示場 2号館

Kobe International Exhibition Hall No. 2

<主催>
テクノオーシャン・ネットワーク

<Organizer>
Techno-Ocean Network

<共催>
国立研究開発法人海洋研究開発機構
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構
神戸市
一般財団法人 神戸観光局

<Co-Organizers>
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology
National Institute of Maritime, Port and Aviation Technology
Japan Organization for Metals and Energy Security
Kobe City
Kobe Tourism Bureau

<https://to2025.techno-ocean.com/>



海洋に関する幅広い分野の産学官関係者が『神戸』に集結！

出展 分野	海洋再生可能 エネルギー	調査・観測 探査	通信 IT	港湾 海洋土木	水産	環境・気象 災害	船舶 船用機器	SDGs	環境保護 保全	大学 研究機関	官公庁	その他
----------	-----------------	-------------	----------	------------	----	-------------	------------	------	------------	------------	-----	-----

海洋科学技術に関する総合展示会を「ビジネスマッチング」
「ネットワーキング構築」「最新の情報収集」などにご活用ください!!

～注目のトピックスを集めた【特別セミナー】を開催～
[Special seminar] featuring hot topics!

講演日時	講演タイトル	講演者
11月27日 (木) 13:30~14:00	転換期の造船業	海事プレス社 海事プレス共同編集長 対馬 和弘 氏
11月27日 (木) 15:10~15:40	総合重工の造船事業再編	日本海事新聞社 編集部記者 五味 宜範 氏
11月28日 (金) 11:15~11:45	防衛装備庁における研究開発	防衛装備庁 技術戦略部 技術戦略課長 海江田 達也 氏
11月28日 (金) 14:10~14:40	海洋天然水素ポテンシャルとこれからの海洋産業	国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 特任参事 倉本 真一 氏

※会場：展示会場内オーシャンデッキ ※内容は変更になる場合があります。



写真2点は前回の「特別セミナー」の様子

お問合せ

Techno-Ocean 2025 実行委員会事務局

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1 (一財)神戸観光局内
TEL: (078) 303-0029 E-mail: ex-techno-ocean@kcva.or.jp



出展者一覧(50音順)

株式会社IHI
株式会社アイエスイー
株式会社アイエンター
あおみ建設株式会社
株式会社アーク・ジオ・サポート
浅野金属工業株式会社
イエロースキャンジャパン株式会社
いであ株式会社
栄臨建設株式会社
株式会社エス・イー・エイ
独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構
大阪公立大学 海洋システム工学分野
大阪湾広域臨海環境整備センター
株式会社OKIコムエコーズ
株式会社オーシャン・ジオフロンティア
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
海上保安庁
国立研究開発法人海洋研究開発機構
海洋電子株式会社
川崎汽船株式会社
川崎重工工業株式会社
株式会社KANSOテクノス
気象庁
株式会社キュー・アイ
九電みらいエナジー株式会社
グレンエア
K-Best Technology株式会社
神戸市環境局
神戸市港湾局
神戸市水産会

神戸市立工業高等専門学校
神戸大学大学院 海事科学研究科
広和株式会社
国際気象海洋株式会社
コスモス商事株式会社
国土交通省 近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所
五洋建設株式会社
ザイレムジャパン株式会社
株式会社SeaBreath
JFEアドバンテック株式会社
株式会社紫光技研/徳島大学医学部予防環境栄養学分野
静岡市
次世代海洋調査株式会社
株式会社SIX VOICE
ジビル調査設計株式会社
株式会社渋谷潜水工業
株式会社ジュピターコーポレーション
株式会社昌新
株式会社水龍堂
大成建設株式会社
ダイトロン株式会社
大和海运株式会社
中央開発株式会社
東亜建設工業株式会社
株式会社東京久栄
東京大学生産技術研究所 海中観測実装工学研究センター
東京農工大学 中山研究室
東洋建設株式会社
株式会社東陽テクニカ
株式会社TOWATECHNO
トーカロ株式会社

株式会社トリマティス
内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第3期 海洋安全保障プラットフォームの構築
NACOL株式会社
株式会社西村商会
日油技研工業株式会社
日本海工株式会社
日本気象株式会社
日本大学 海洋空間利用工学研究室
Nortekジャパン合同会社
株式会社ハイドロシステム開発
ハイドロパイオス
パシフィックソフトウェア開発株式会社
株式会社ハマ
阪神国際港湾株式会社
ビジオテックス株式会社
深田サルベージ建設株式会社
富士通株式会社
株式会社不動テトラ
古野電気株式会社
防衛装備庁
有限会社ボーダック
マリメックス・ジャパン株式会社
一般財団法人マリンオープンイノベーション機構
株式会社マリン・ワーク・ジャパン
ミサゴ株式会社
三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジーズ株式会社
みらい建設工業株式会社
理研電具製造株式会社
りんかい日産建設株式会社
レモジャパン株式会社
若築建設株式会社

Exhibitors (Alphabetical Order)

Acquisition, Technology & Logistics Agency
AOMI CONSTRUCTION CO., LTD.
Arc Geo Support Co.,Ltd.
Asano Metal Industry Co., Ltd.
BODUK CO., LTD.
Cabinet Office Strategic Innovation Creation Program (SIP) 3rd Term
National Platform for Innovative Ocean Developments
Center for Integrated Underwater Observation Technology,
Institute of Industrial Science, The University of Tokyo
Chuo Kaihatsu Corporation
CITY OF SHIZUOKA
COSMOS SHOJI CO., LTD.
Daitron Co., Ltd.
Daiwa Kaiun K.K.
Department of Marine System Engineering, Osaka Metropolitan University
EIRIN CONSTRUCTION CO.,LTD.
Fudo Tetra Corporation
Fujitsu Limited
FUKADA SALVAGE & MARINE WORKS CO.,LTD.
FURUNO ELECTRIC CO., LTD.
Glenair
Graduate School of Maritime Sciences, Kobe University
HAMA K.K.
Hydro Systems Development,Inc.
HYDRO-BIOS
IDEA Consultants, Inc.
i-enter Corporation,Ltd.
IHI Corporation
International Meteorological & Oceanographic Consultants Co.,Ltd.
ISE Co., Ltd.
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology
Japan Coast Guard
Japan Meteorological Agency
Japan Meteorological Corporation
Japan Organization for Metals and Energy Security
JFE Advantech Co., Ltd.
Jupitor Corporation
KAIYO DENSHI Co., Ltd.
KANSO TECHNOS CO., LTD.
Kawasaki Heavy Industries, Ltd.
Kawasaki Kisen Kaisha, Ltd.
K-Best Technology Co.,Ltd
Kobe City Collegeos Technology
KOBE CITY ENVIRONMENT BUREAU
Kobe Fisheries Association
Kobe Reserch and Engineering Office for Port and Airport, Kinki Regional Development Bureau,
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Kobe-Osaka International Port Corporation
KOWA CORPORATION
Kyuden Mirai Energy Co.,INC.

LEMO Japan, Ltd.
MARIMEX JAPAN K.K
Marine Open Innovation Institute
Marine Works Japan Ltd.
MIRAI CONSTRUCTION CO.,LTD.
Misago Co., Ltd.
MITSUBISHI ELECTRIC DEFENSE AND SPACE TECHNOLOGIES CORPORATION
NACOL CO.,LTD.
National Maritime Research Institute, National Institute of Maritime,
Port and Aviation Technology
new Horizon Ocean Research & Technology Co.,Ltd.
NiGK Corporation
NIPPONKAIKO Co., Ltd.
NISHIMURASYOKAI CO., LTD
Nortek Japan G.K.
Ocean Geo-Frontier Co., Ltd.
OKI Com-Echoes Co., Ltd.
Osaka Bay Regional Offshore Environmental Improvement Center
OSU Laboratory at Nihon University
Pacific Software Development Co., Ltd.
PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD.
Port and Airport Research Institute
Port and Harbor Bureau of Kobe City Government
Q・I INCORPORATED
Riken Dengu Seizo Co., Ltd.
RINKAI NISSAN CONSTRUCTION CO.,LTD.
Science Engineering Associates Corporation
SeaBreath Co., Ltd.
SHIBUYA DIVING INDUSTRY
Shikoh Tech Co., Ltd.
Shoshin Corporation
SIX VOICE, Inc.
SUIRYU Corporation
TAISEI CORPORATION
TOA CORPORATION
TOCALO Co., Ltd.
Tokyo Kyuei Co.,Ltd.
TOWATECHNO Co., Ltd.
TOYO CONSTRUCTION CO.,LTD.
TOYO Corporation
Trimatiz Limited
Viziotex Corporation
WAKACHIKU CONSTRUCTION CO., LTD.
Xylem Inc
YellowScan Japan Co., Ltd.
Yu Nakayama Lab. Tokyo University of Agriculture and Technology
Zivil investigation(survey)Design

2025年10月16日現在

出展者プレゼンテーション

出展企業・団体が最新の製品や技術について発表します！

場所：展示会場内オーシャンデッキ

月 日	時 間	出展者名	プレゼンテーションタイトル
11月27日 (木)	10:10～10:25	株式会社オーシャン・ジオフロンティア	海底に語りかけ、地下を探る ー振動による対話ー
	10:25～10:40	株式会社トリマティス	水中LiDAR (水中フュージョンセンサのご紹介)
	10:40～10:55	ビジオテックス株式会社	取り扱い製品のご紹介「Baywei Sonar社M7やその他」
	10:55～11:10	中央開発株式会社	洋上風力発電事業における地盤調査
	11:10～11:25	株式会社アイエンター	AI / IoTを活用したマリンテック事業の取り組みについて
	11:25～11:40	K-Best Technology株式会社	すべての場所に“つながる安心”を。Super TaiRa×紙電池による通信革新
	11:40～11:55	トーカロ株式会社	海洋分野における表面処理の適用
	11:55～12:10	独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構	洋上風力の案件形成におけるセントラル方式とJOGMECの役割
	12:10～12:25	大成建設株式会社	うみフル ～海洋プラスチックごみをアップサイクルした建築～
	12:25～12:40	株式会社アイエスイー	海洋モニタリングシステム「うみログ」の紹介と活用方法
	12:40～12:55	日本気象株式会社	洋上風力のEEZ展開は過酷な自然環境との闘い
	12:55～13:10	日油技研工業株式会社	海底地盤調査向けCPTデータ取得サービスのご紹介
	13:10～13:25	株式会社東京久栄	見るから診るへー 次世代型水上スライダー「Hy-CaT」と水域調査・点検ソリューション
	14:05～14:20	株式会社IHI	海と宇宙をつなぐVDES ～安全・効率・環境を支える次世代のコミュニケーション～
	14:20～14:35	株式会社東陽テクニカ	より細かい水中計測のアプローチ
	14:35～14:50	株式会社ハイドロシステム開発	長期海洋観測を実現する無人水上艇
11月28日 (金)	14:50～15:05	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所	自律型水中ロボット群による海洋調査システム
	15:45～16:00	富士通株式会社	海洋の価値を見える化する： ブルーエコノミーを支える海洋デジタルツインの挑戦
	16:00～16:15	株式会社ハマ	海洋観測に応用可能な飛行艇型無人機ハマドリシリーズのご紹介
	16:15～16:30	国際気象海洋株式会社	可搬型GPS波浪計『SpotterBuoy』のご紹介
	10:10～10:25	株式会社昌新	海洋分野への活動と製品紹介
	10:25～10:40	深田サルベージ建設株式会社	深田サルベージ建設の洋上風力発電事業の取り組み ～これまでの実績と今後の展望～
	10:40～10:55	川崎汽船株式会社	川崎汽船の脱炭素への取り組み
	10:55～11:10	JFEアドバンテック株式会社	海の未来を測る：センサー技術で進化する水質モニタリング
	11:50～12:05	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	世界に貢献できる技術を目指して
	12:05～12:20	株式会社紫光技研/ 徳島大学医学部予防環境栄養学分野	プラズマ方式水銀フリー深紫外線面光源UV-LAFiの応用展開 ー海中生物付着防止と海水殺菌、および空間除菌ー
	12:20～12:35	パシフィックソフトウェア開発株式会社	「SeaVision ～海洋土木高度情報技術サービス～」
	12:35～12:50	Nortekジャパン合同会社	水中ビークル・ロボットを迷子にさせないNortekのDVL技術
	12:50～13:05	静岡市／ 一般財団法人マリンオープンイノベーション機構	静岡のブルーエコノミー国際拠点の形成 -駿河湾・海洋DX先端拠点化イニシアティブ-
	13:05～13:20		
	13:20～13:35	ミサゴ株式会社	ワークを止めるな・濁水環境用水中カメラのご紹介
	13:35～13:50	株式会社水龍堂	汎用ROV「龍頭」の水中インフラ維持管理への対応
	13:50～14:05	コスモス商事株式会社	弊社取扱製品のご紹介
	14:45～15:00	いであ株式会社	AUVによる海洋構造物の調査 ースパー型浮体式洋上風力発電施設の全自動調査ー
	15:15～15:30	株式会社SIX VOICE (水中ドローン社)	職業、水中ドローン組み立て職人 (仕事紹介)
	15:30～15:45	マリメックス・ジャパン株式会社	マリメックス・ジャパンの新たな取り組み
	15:45～16:00	レモジャパン株式会社	レモジャパン製耐水圧ハース特注事例のご紹介

※スケジュール・タイトルは変更になる場合があります。
2025年10月16日現在